

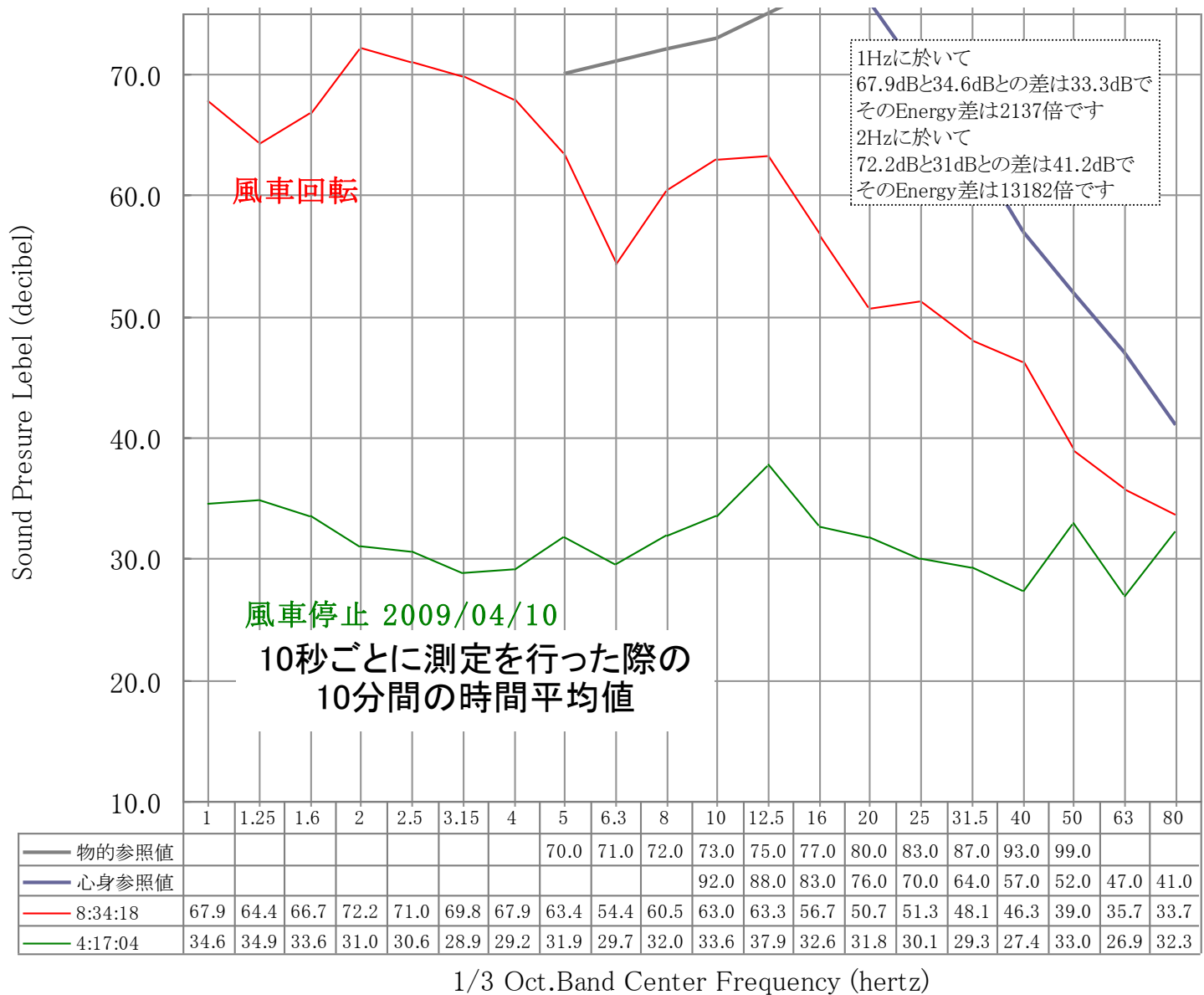
# 8. 川澄宅の低周波音測定

(09.4.22 測定資料)



場所 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本  
 日時 2009/04/22(水) K様宅  
 機器 リオンNA-18A 1F居室窓閉 本人計測

One minute/Energy average  
 by Lp every second



# 9. 測定に対する事業者の意見

- この測定は素人が計ったもの(測定は素人だが測定値は機械が測定)。
- 最後に「人間には知覚できず、低周波音による苦情の可能性は極めて低い」と結論。
- これは低周波音被害(10~40ヘルツに発生)と超低周波空気振動病=風車病(1~3ヘルツに発生)の区別・存在すら知らず、感覚閾値(密室の機械音)に依存した参照値を唯一のよい所としている。
- 事業者は「環境省は参照値を下回っているから大丈夫だと言うことは出来ません。これは目安であって基準ではありません。」「参照値には科学的根拠はない。」と説明している。そういう参照値以下だから被害がないとは噴飯ものです。

# 測定に対する事業者の意見(2)

- 事業者は2度の試運転時に、騒音・低周波音の測定をおこなっていますが、いずれも人間が住む人家の中での測定はせず、戸外の測定で風の影響を強調しています。
- 2009年5月の日本風力エネルギー協会のセミナーでも、M取締役は、犬の鳴き声、波の音が邪魔した(通常このような状態測定値は除外すると素人でも理解)、事前、事後の環境アセスメントのいずれも事前より事後の数値が低い数値を発表しており、例によって参照値以下と説明しパネラーの一人から注意を受けておりました(事業者の役員すらそんな認識しか持っていない)。
- 熱川での測定でも「生の数値を提示せず」かない時間を掛けて「風の影響だ」「暗騒音だ」「G特性・参照値を満たしている」との非科学的な説明で現状の被害から逃げておきます。
- それなら風車建設前に分譲地に20年近く定住し、何事もなく生活していた我々が、風車の試運転と同時に色々の症状に苦しむ原因は何なのですか？風車から離れて出掛けるとその症状が無くなる原因は何なのか明確に答えて貰いたい。

# 10. 音(空気振動)の住民被害像 資料3

	要素	騒音被害	低周波音被害	風車病
1	周波数	一般の周波数 (50~2万ヘルツ)	低周波音域 (10~40ヘルツ)	超低周波音域の更に低位 1、2、3、15ヘルツあたり?
2	聴取	よく聞こえる	あまり聞こえない	全く聞こえない
3	ガタツキ	なし	きつい時起こり得る	よく起こる
4	距離減衰	普通の減衰	少ない(遠くまで届く)	極めて少ない(更に遠く)
5	隔壁減衰	反射、吸収が著明	貫通する能力が強い	更に貫通力が強い
6	個人差	あまりない	極めて著明	あまりない
7	被害感	やかましい	大変苦しい(不定愁訴)	大変苦しい(不定愁訴)
8	被害発生	直ちに	時間を置いて(潜伏期)	直ちに(試運転時も)
9	被害場所	屋外	屋内	屋内・外
10	経過	慣れる(楽になる)	どんどん増悪	慣れない?
11	防音対策	有効	かえって悪化	無効
12	耳栓	有効	無効~増悪	無効(~時に有効?)
13	対策	容易	困難	困難
14	外国人	厳格	割合平気	不明?
15	日本人	割合寛大	極めて鋭敏になり得る	鋭敏?
16	ペット	反応するイヌがある	あまり反応しない?	イヌ・ネコが強く反応する
17	脳受容	右脳	(被害者は)左脳+全体	(被害者は)左脳+全体
18	測定	騒音レベル(A特性)	1/3 Oct. Band周波数分析	1/3 Oct. Band周波数分析

# 11. 被害調査：自治会第1回調査

08年3月25日 資料4-1

- ◆被害を訴えている家族数(回答があった25家族中、21家族が被害を訴えている:84%)
- ◆被害が訴えられた日数(調査を行った29日中、17日で被害が訴えられている:59%)
- ◆騒音被害と風速の関係(資料1-5参照)
- ◆騒音被害の地域:風車までの距離800m以内に生活する人の88%(17人中15人)が騒音苦情を訴え、1000m以内に生活する人の70%が苦情を訴えている。
- ◆心身への被害 (資料5参照)
- ◆風車から600~800mで下記の症状発生(52.7dB)  
肩凝り、耳が痛い、圧迫感、頭痛、耳鳴り、吐き気



# 被害調査結果：自治会第1回調査

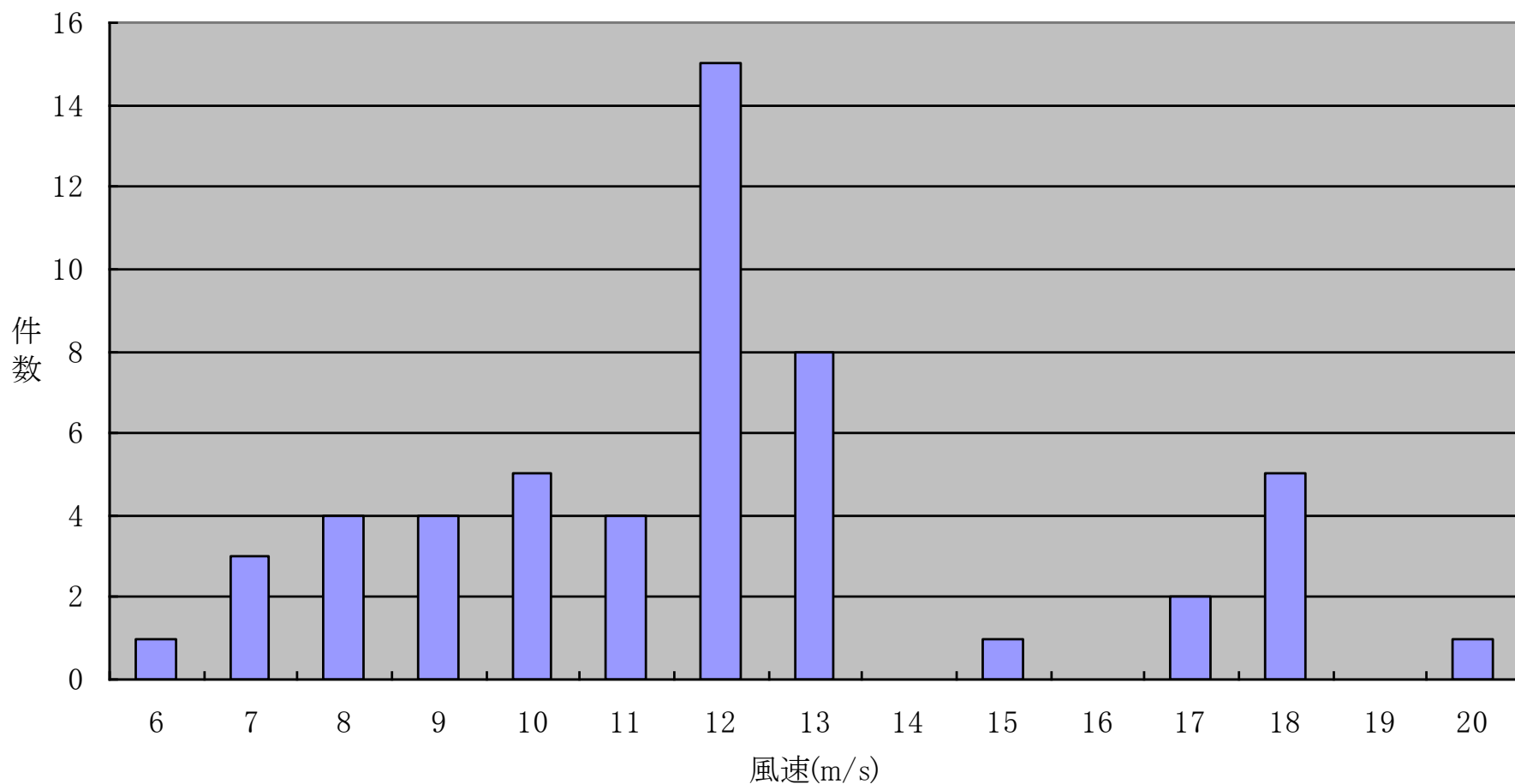
08年3月26日 資料4-2

- ◆犬を飼っているほぼ100%の人が、  
風車が回ると飼い犬が騒ぐと苦情
- ◆風車の影を経験した人全員から苦情。
- ◆夜間航空灯を経験した人全員が異常を訴えている。
- ◆回答者の内、2軒で窓の振動があったと訴えている
- ◆騒音被害(資料5参照)

風車から350m～700m離れても眠れないとの苦情(45.7dB～51.4dB)。また800m離れた人も煩いと感じた人がいる。

# 被害:自治会第1回調査資料4-3

ハブ風速に対する 苦情件数(2008年2月5日～3月4日)

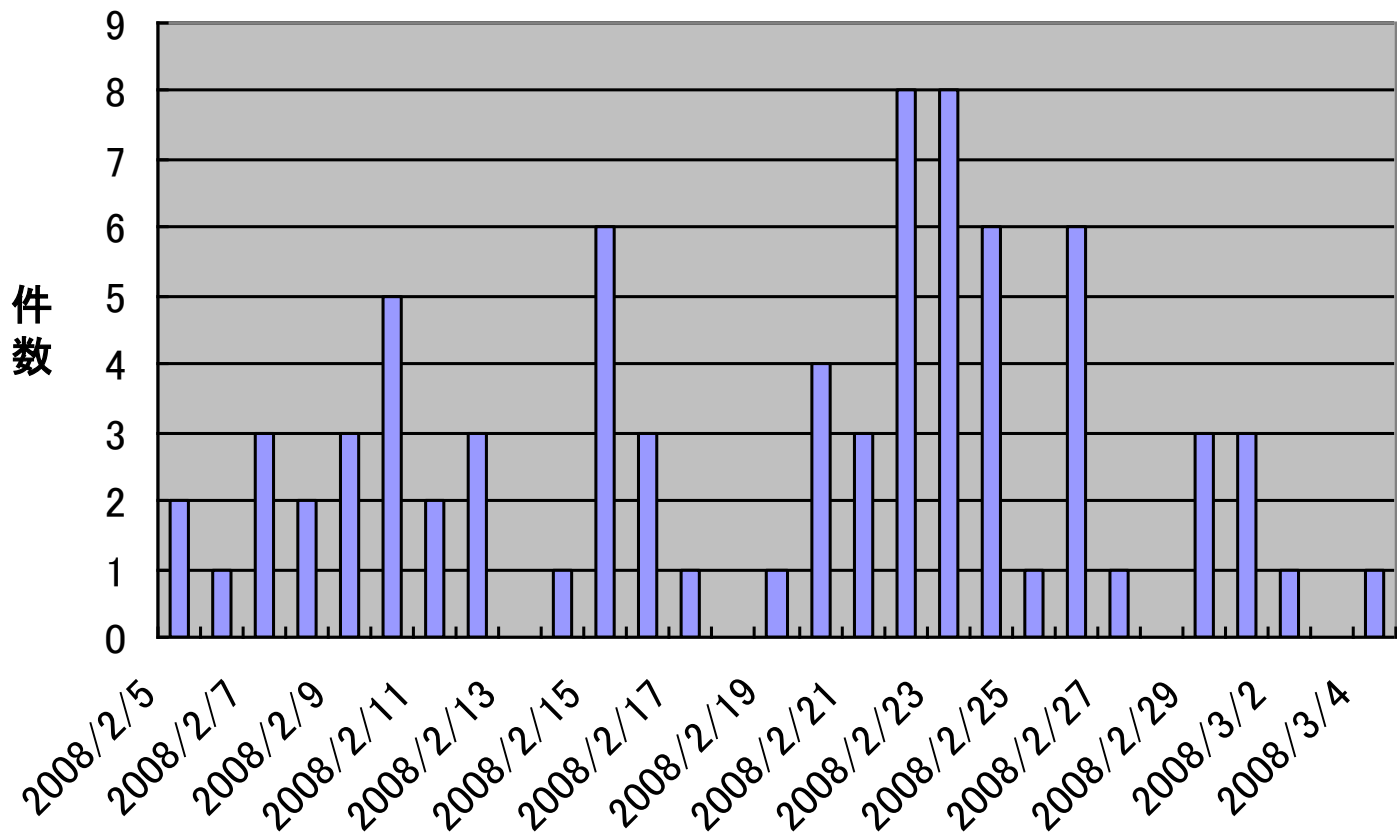




# 被害:自治会第1回調査

資料4-4

苦情件数



# 12. 心身の被害：自治会第2回調査

(2008年2月13～3月31日) 資料5

心身の被害

